



BNE校の校章

BNE校だより



# 南十字星

2017年度  
第6号

クイーンズランド補習授業校  
校長 清村幸一

## ようこそ先輩！ミニ課外授業特集号

8月26日、朝の時間に小学部6年生と、中学部を対象に、現在日本の大学院に通うブリスベン校の卒業生、三井茉綸さんが、お話を聞かせてくれました。

将来の進路について、また補習校の継続について悩んでいる生徒もいると思いますが、こうやって直接先輩から話を聞くことができたのは、生徒たちにとって貴重な時間になったことと思います。三井さんにはほんとうにありがとうございました。また機会があったら、ぜひ補習校に遊びに来てくださいね。



三井茉綸さん

とてもいい内容だったので、ぜひ皆さんにも読んでいただきたく、掲載させていただきます。

皆さんこんにちは、ブリスベン補習授業校卒業生の三井茉綸と申します。

皆さんと同じように、毎週土曜日補習校に通い、現地校の勉強との両立がとても大変だったことをよく覚えています。でも今は補習校を卒業して本当によかったと思っています。今日は私が補習校で学べてよかったことについてお話しします。

私は、補習校を卒業したあと、クイーンズランド大学で4年間薬学を学び、1年間の薬局での研修勤務を経て、薬剤師になりました。そのままオーストラリアで薬剤師として働くということも考えましたが、英語と日本語両方を活かすことができるような仕事がしたいという気持ちもあり、日本の大学院へ進学することにしました。

10年ぶりに日本での生活が始まりましたが、補習校で国語を学んでいたおかげで、それほど苦労することはありませんでした。漢字などは普段使っていなかったもので、忘れていたものも多くありましたが、一度は学んだことがあるということは、新しく覚えるのより遥かに早く習得することができます。補習校での国語の勉強が日本への大学院進学や日本での生活に大変役に立ちました。また、数学（算数）を学んだことも、現地校での数学の学習に役立ち、二つの言葉で、異なる教わり方で教わることでより理解を深めることができました。

補習校で学ぶことができたのは、国語や数学だけでなく、日本の文化、日本人の考え方や価値観です。例えば、目上の方や先生方を敬う文化であったり、運動会やバザー、卒業式などのイベントを通して日本ならではの伝統や一体感を体験したことで、日本人としてのアイデンティティを失わずにすみ、日本での生活にもスムーズに溶け込むことができました。今後、オーストラリアまたは日本以外の国で生活していく人は、日本語や日本の文化を学んでいなくても、困ることはないかと思います。しかし、二つ以上の文化を体験することで、それぞれの考え方を学び、様々な角度から物事を捉えられるようになります。 (裏面につづく → )

私は、日本の製薬企業で薬の開発をしたいと思い、就職活動を行いました。自分の大きな武器となったのがバイリンガルという強みに加え、この柔軟な思考力です。面接の際、「ずっと日本にいる学生にはない、ものの見方や考え方を持っているね」というようなことは面接官によく言われました。このような広い視野や柔軟な思考力は、グローバルライゼーションしている中、世界のどこに行っても必ず皆さんの力になると思います。

最後になりますが、私は補習校で、卒業後も生涯を通して、励まし合える友達に出会うことができました。同じような境遇で、言葉や文化の壁をともに乗り越えてきた仲間とは、話も合いますし、意見をぶつけ合うこともできます。卒業式に、皆で栄光の架け橋を歌ったのは、一生の思い出になりました。つい数週間前にも、日本で働く卒業生の一人と再会し、思い出話に花を咲かせつつ、悩みを相談したりして、お互いに励まし合いました。

平日は現地校に行き、土曜日は補習校へ行き、さらに宿題に取り組むのは、大変だと思います。私もきついと感じる時も何度かありましたが、今は本当に、補習校に行ってよかった、卒業出来てよかったと感じています。ぜひ皆さんも、現地校と補習校での勉強を両立して、培った知識や経験を活かし、夢に向かって羽ばたいてください。がんばって補習校に通い続け、卒業した後、きっと補習校に行ってよかったと思う日がくると思います。



**お話の後は、楽しい質疑応答もありましたので、ご紹介します。**

- 「何年生から補習校にいましたか？」  
→ 「中学校 1 年から 3 年生まで補習校で勉強しました。」
- 「補習校で辛かったことは何でしたか？」  
→ 「宿題が多かった事です。現地校との両立が大変でした。」
- 「勉強は好きですか？」  
→ 「小学生、中学生の頃は勉強はそんなに好きではありませんでした。大学生になってすごく好きになりました。」
- 「昔と今の中川先生で違うところはありますか？」  
→ 「昔から今のままでした(笑)。時には厳しく、時には優しく。」
- 「高校生の時、勉強はどうでしたか？」  
→ 「高校の時は大学に行くために勉強していました。私は Pharmacy がやりたいと思っていたので、そこに行けるように勉強していました。」
- 「日本の大学の受験勉強とかどうでしたか？」  
→ 「日本の大学院に入る為に受験勉強しました。日本語も勉強して、日本語でも生物・科学は英語でしか勉強した事がなかったので、日本語で勉強し直しました。」